



Agilent Technologies

Kit Name: ICH Q3D & USP 232 Orals Kit_v2

Kit PN: 5191-4553

This product is a kit, composed of the following individual chemical components:

Kit Components

Component Part Number	Component Name	Volume or mass/ container and unit	No. of component containers/ kit
5190-9766	ICH/USP Target Elements Standard A	100 mL	1
5190-9767	ICH/USP Oral Target Elements Standard B	100 mL	1
5191-4555	ICH/USP Oral Target Elements Std C_v2	100 mL	1
5190-9769	ICH/USP Oral Target Elements Standard D	100 mL	1
5190-9770	Pharma Internal Standard 1	100 mL	1

SDSs for each component follow this cover sheet.

Transportation Information for the Kit:

Proper Shipping Names:

DOT	IATA/ICAO	China
UN3316, Chemical Kit, 9, II	UN3316, Chemical Kit, 9, II	UN3316, Chemical Kit, 9, II



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

改訂日 06-9-2023

改訂番号 1

1. 化学品及び会社情報

製品名 ICH/USP Target Elements Standard A

製品コード 5190-9766

登録番号 情報なし

安全データシートの供給者の詳細

供給者

アジレント・テクノロジー株式会社
住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

電話番号 +81-42-660-3111

緊急連絡電話番号
CHEMTREC®: +(81)-345209637

電子メールアドレス pdl-msds_author@agilent.com

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 分析化学研究所用の試薬および基準

推奨されない用途

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

日本政府によるGHS分類

金属腐食性化学品	区分 1
急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	区分 3
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9766 - ICH/USP Target Elements Standard A

改訂日 06-9-2023

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ない 区分 2
区分 2 呼吸器。	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2
区分 2 呼吸器、歯。	
誤えん有害性	区分に該当しない
水生環境有害性 短期(急性)	区分 3
水生環境有害性 長期(慢性)	区分 3
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素



注意喚起語

危険

危険有害性情報

日本政府によるGHS分類

吸入すると有毒

皮膚刺激

強い眼刺激

臓器の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

長期継続的影響によって水生生物に有害

金属腐食のおそれ

以下の臓器の障害のおそれ： 呼吸器。

長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ： 呼吸器、歯。

注意書き

安全対策

- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること
- 取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと
- 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと
- 環境への放出を避けること
- 他の容器に移し替えないこと
- 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること

応急措置

- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること
- 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9766 - ICH/USP Target Elements Standard A

改訂日 06-9-2023

- 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること
 - 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹼)で洗うこと
 - 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること
 - 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること
 - 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
 - 医師に連絡すること
 - 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること
- 保管**
- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと
 - 施錠して保管すること
 - 耐腐食性／耐腐食性内張りのある容器に保管すること
- 廃棄**
- 内容物／容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

他の危険有害性

情報なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学的性質 水溶液

化学品の名称	CAS No.	重量%	化審法インベ ントリ	化審法番号	安衛法インベ ントリ	安衛法番号
Nitric Acid	7697-37-2	0 - 10%	既存	(1)-394	既存	(1)-394
Mercury	7439-97-6	0 - 10%	除外	-	-	
Arsenic	7440-38-2	0 - 10%	除外	-	-	

追加情報

この SDS に記載された酸の濃度は、絶対質量濃度(% w/v)として計算されています。これは製品ラベルおよび COA に記載された酸濃度より低く、市販の濃縮水性形の酸のパーセント値を反映しています。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

表示対象物質

Harmful Substances - names to be indicated on the label; Industrial Safety and Health Law enforcement order Table 9 (related to Industrial Safety and Health Law article 57 and ISHL Ordinance Article 33)

化学品の名称	CAS No.	区分	政令番号	含有率 %
--------	---------	----	------	-------

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9766 - ICH/USP Target Elements Standard A

改訂日 06-9-2023

Nitric Acid	7697-37-2	表示対象物質	
-------------	-----------	--------	--

毒物及び劇物取締法 該当しない

化学品の名称	CAS No.	毒物及び劇物
Mercury	7439-97-6	毒物(法第2条、別表1)
Arsenic	7440-38-2	毒物(法第2条、別表1)

4. 応急措置

一般的なアドバイス

治療を行う医師にこのSDSを示すこと。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移すこと。症状が出た場合には、直ちに医師の手当てをうけること。ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行うこと。直ちに医師の手当てを受けること。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。負傷者がその物質を飲み込んだり吸入した場合には口移し法は使わないこと。一方向弁付きポケット・マスク又は他の適切な呼吸医療装置を使用して人工呼吸を行うこと。呼吸が困難な場合には、(資格のある者が)酸素吸入を行うこと。

皮膚に付着した場合

直ちに石けん(鹸)と多量の水で少なくとも15分間洗い落とすこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。洗っている間は眼を大きく広げてたままにすること。受傷部をこすらないこと。刺激が生じて長引くときは、医師の手当てをうけること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。無理に吐かせないこと。直ちに医師又は中毒情報センターに連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。灼熱感。咳及び／又は喘鳴。呼吸困難。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。医療者が物質の関与を認識していることを確認し、彼ら自身の保護及び汚染の拡大を防止するための措置を講じること。負傷者がその物質を飲み込んだり吸入した場合には口移し法は使わないこと。一方向弁付きポケット・マスク又は他の適切な呼吸医療装置を使用して人工呼吸を行うこと。蒸気やミストを吸い込まないこと。指定された個人用保護具を着用すること。詳細については項目8を参照。

医師に対する特別な注意事項

症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9766 - ICH/USP Target Elements Standard A

改訂日 06-9-2023

使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させないこと。
特有の危険有害性	情報なし。
特有の消火方法 大規模火災	水噴霧でドラムを冷却すること。 警告：放水では十分な消火の効果を得られない場合がある。
消火活動を行う者の特別な保護具及び 予防措置	消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。十分換気されているか確認すること。指定された個人用保護具を着用すること。人員を安全な区域に退避させること。蒸気やミストを吸い込まないこと。人員を漏出／漏えい(洩)の風上に遠ざけること。
緊急対応を行う者のための保護具	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。
封じ込め方法	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。
浄化方法	回収して適切に表示された容器に移すこと。
二次災害の防止策	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。
その他の情報	項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項	産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。蒸気やミストを吸い込まないこと。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。製品の取扱いを閉鎖系内に限定するか適切な排気式換気を設けること。
衛生対策	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。休憩前及び作業後に手を洗うこと。適切な手袋及び眼／顔面保護具を着用する。機器、作業区域及び衣類を定期的にクリーニングすることが推奨される。蒸気やミストを吸い込まないこと。汚染された衣類及び手袋は脱ぎ、再使用する前に内側を含めて洗濯すること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。休憩前及び製品の取扱い直後に手を洗うこと。

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9766 - ICH/USP Target Elements Standard A

改訂日 06-9-2023

保管

安全な保管条件

特定の保管方法や輸送時の温度条件については、製造者証明書を参照すること。保証書内に他の指示がない限りは、もとの容器で保管すること。容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。湿気を遮断すること。施錠して保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。隔離して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

シャワー
洗眼場
換気システム。

許容濃度

化学品の名称	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
Nitric Acid 7697-37-2	TWA: 2 ppm TWA: 5.2 mg/m ³	-	STEL: 4 ppm TWA: 2 ppm
Mercury 7439-97-6	TWA: 0.025 mg/m ³	0.025 mg/m ³	TWA: 0.025 mg/m ³ S*
Arsenic 7440-38-2	-	0.003 mg/m ³	TWA: 0.01 mg/m ³

生物学的職業性ばく露限界値

供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性物質を一切含んでいない

化学品の名称	日本産業衛生学会	ACGIH
Mercury 7439-97-6	35 µg/g creatine - urine (total Inorganic mercury) - not critical	20 µg/g creatinine - urine (Mercury) - prior to shift
Arsenic 7440-38-2		35 µg As/L - urine (Inorganic arsenic plus methylated metabolites) - end of workweek

環境ばく露防止

いかなる下水管の中、地面上又はいかなる水域中にも侵入させないこと。

保護具

呼吸用保護具

通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気及び排気が必要になる。

手の保護具

ネオプレン™製の保護手袋を着用すること。使用される保護手袋はEC指令89/686/EECの仕様および関連する標準EN374に準拠している必要があり。適切な手袋を着用する。不透性手袋。

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9766 - ICH/USP Target Elements Standard A

改訂日 06-9-2023

10: 安定性及び反応性

反応性	情報なし。
化学的安定性	通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性	通常のプロセスではない。
避けるべき条件	長期間にわたる空気又は湿気へのばく露。過剰な熱。
混触危険物質	酸化剤。強酸。強塩基。
危険有害な分解生成物	提供された情報に基づき知見なし。
爆発データ	
静電放電に対する感度	なし。
機械的衝撃に対する感度	なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている

ATEmix(経口)	99,999.00 mg/kg
ATEmix(経皮)	99,999.00 mg/kg
ATEmix(吸入-ガス)	99,999.00 ppm
ATEmix(吸入-粉じん/ミスト)	99,999.00 mg/l
ATEmix(吸入-蒸気)	2.63 mg/l

化学品の名称	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
Nitric Acid	-	-	= 2500 ppm (Rat) 1 h ATE (vapours) = 2.65 mg/L
Mercury	-	-	< 27 mg/m ³ (Rat) 2 h
Arsenic	= 15 mg/kg (Rat)	-	-

略語及び頭文字

Rat: ラット

症状 発赤。眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。咳及び/又は喘鳴。呼吸困難。

製品情報

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔吐、

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9766 - ICH/USP Target Elements Standard A

改訂日 06-9-2023

吸入	及び下痢を引き起こすおそれがある。 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。気道刺激を引き起こすおそれ。吸入すると有毒である。(成分に基づく)。
皮膚接触	この化学物質又は混合物の特定試験データはない。皮膚刺激。(成分に基づく)。
眼接触	この化学物質又は混合物の特定試験データはない。強い眼刺激。(成分に基づく)。発赤、掻痒感、及び痛みを引き起こすおそれがある。
皮膚腐食性／刺激性	成分に対して利用可能なデータに基づく分類。皮膚刺激。皮膚刺激のおそれ。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	成分に対して利用可能なデータに基づく分類。強い眼刺激。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない。
生殖細胞変異原性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。
発がん性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。

化学品の名称	日本	IARC
Mercury 7439-97-6		Group 3
Arsenic 7440-38-2	1A	Group 1

生殖毒性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。
標的臓器影響	呼吸器。眼。皮膚。歯。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	国又は地域で採用され、SDSが準拠している世界調和システム(GHS)の分類基準に基づき、この製品は急性のばく露に起因して全身標的臓器毒性を引き起こすと判定されている。(STOT SE)。臓器の障害のおそれ。 以下の臓器の障害のおそれ： 呼吸器。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	長年にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。 長年にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ： 呼吸器、歯。

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9766 - ICH/USP Target Elements Standard A

改訂日 06-9-2023

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。区分に該当しない。

12. 環境影響情報

生態毒性 長期継続的影響によって水生生物に有害。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

化学品の名称	藻類／水生植物	魚類	甲殻類
Mercury	-	LC50: =0.5mg/L (96h, Cyprinus carpio) LC50: =0.16mg/L (96h, Cyprinus carpio) LC50: =0.18mg/L (96h, Cyprinus carpio) LC50: =0.9mg/L (96h, Oryzias latipes)	-

残留性・分解性 情報なし。

生体蓄積性 この製品のデータはない。

成分情報

化学品の名称	分配係数
Nitric Acid 7697-37-2	-2.3

他の有害影響 情報なし。

この製品は、既知の内分泌かく乱物質又は内分泌かく乱が疑われる物質を一切含有していない。

化学品の名称	EU-REACH(1907/2006)-第59条(1)-高懸念物質の認可対象候補物質リスト	EU-REACH(1907/2006)-内分泌かく乱作用評価対象物質リスト	内分泌かく乱の可能性
Nitric Acid	-	-	-
Mercury	-	-	-
Arsenic	-	-	-

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9766 - ICH/USP Target Elements Standard A

改訂日 06-9-2023

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG

国連番号又はID番号	UN3264
品名(国連輸送名)	Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid)
説明	UN3264, Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid), 8, III
国連分類(輸送における危険有害性 クラス)	8
容器等級	III
海洋汚染物質	NP
EmS-No.	F-A, S-B
特別条項	223, 274

ADR

国連番号又はID番号	UN3264
品名(国連輸送名)	Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid)
説明	UN3264, Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid), 8, III, (E)
国連分類(輸送における危険有害性 クラス)	8
容器等級	III
ERGコード	8L
特別条項	274

IATA

国連番号又はID番号	UN3264
品名(国連輸送名)	Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid)
説明	UN3264, Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid), 8, III
国連分類(輸送における危険有害性 クラス)	8
容器等級	III
特別条項	A3, A803
ERGコード	8L

日本

国連番号又はID番号	UN3264
品名(国連輸送名)	Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid)
説明	UN3264, Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid), 8, III
国連分類(輸送における危険有害性 クラス)	8
容器等級	III

15. 適用法令

国内規制

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9766 - ICH/USP Target Elements Standard A

改訂日 06-9-2023

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

特定化学物質等(特化則)

特定化学物質(第3類物質) - 労働安全衛生法施行令別表第3(第6条、第9-3条、第21条、第22条関係、及び特定化学物質障害予防規則)

健康診断を要する有害物質

健康診断 - 労働安全衛生法第66条、労働安全衛生法施行令第22条、及び特定化学物質等障害予防規則、別表第5

鉛中毒予防規則

鉛、鉛合金又は鉛化合物 - 労働安全衛生法施行令別表第4(第6条、第21条、第22条、及び鉛中毒予防規則関係)

表示対象物質

Harmful Substances - names to be indicated on the label; Industrial Safety and Health Law enforcement order Table 9 (related to Industrial Safety and Health Law article 57 and ISHL Ordinance Article 33)

通知対象物質

該当しない

労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度

作業環境測定を行うべき作業場(労働安全衛生法施行令第21条及び作業環境評価基準 - 実行上の管理レベル)。詳細な仕様については、SDSの項目8を参照。

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

船舶安全法

詳細については項目14を参照

航空法

詳細については項目14を参照

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

港則法

詳細については項目14を参照

労働基準法

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び化学物質の成分及び化合物と労働者の健康障害を指定する通告別表第1の2、項目4の1

水質汚濁防止法

水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第2条で定める有害物質

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

廃棄物の処理及び清掃に関する法律、第2条、及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第2条の4に定める特別管理産業廃棄物

下水道法

下水道法第12条の2及び下水道法施行令第9条の4

水道法

水道法第4条、法定水質基準

大気汚染防止法

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9766 - ICH/USP Target Elements Standard A

改訂日 06-9-2023

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質
大気汚染防止法第2条、第1項、第3号及び大気汚染防止法施行令第1条で定める有害物質(HAP)

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約

化学品の名称	事前の説明と同意(PIC)の適用対象となる化学物質
Mercury - 7439-97-6	X

国際インベントリー

TSCA	適合する。
DSL/NDSL	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
EINECS/ELINCS	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
化審法インベントリ	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
IECSC	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
KECL	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
PICCS	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
AIIC	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

凡例:

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー
DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト
EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー/欧州新規届出商業用化学物質リスト
ENCS - 化審法既存物質
IECSC - 中国現有化学物質名録
KECL - 韓国既存化学物質目録
PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー
AICS - オーストラリア化学物質インベントリー

16. その他の情報

改訂日 06-9-2023
改訂記録 SDSの余白にある記号(*)は、その行が改訂されたことを示す。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 8: ばく露防止及び保護措置

TWA	TWA(時間加重平均)	天井値	最大限界値
*	皮膚兆候	+	感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁(ATSDR)
米国環境保護庁ChemViewデータベース
欧州化学品局
欧州食品安全機関(EFSA)
EPA(環境保護庁)

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9766 - ICH/USP Target Elements Standard A

改訂日 06-9-2023

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
危険有害性物質データベース
国際統一化学情報データベース(IUCLID)
日本政府によるGHS分類
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)
NIOSH(米国労働安全衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)
米国国家毒性プログラム(NTP)
ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
世界保健機構

免責事項

このデータシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。。

安全データシートのおわり



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

改訂日 06-9-2023

改訂番号 1

1. 化学品及び会社情報

製品名 ICH/USP Oral Target Elements Standard B
製品コード 5190-9767
登録番号 情報なし

安全データシートの供給者の詳細

供給者

アジレント・テクノロジー株式会社
住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

電話番号 +81-42-660-3111

緊急連絡電話番号
CHEMTREC®: +(81)-345209637

電子メールアドレス pdl-msds_author@agilent.com

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 分析化学研究所用の試薬および基準

推奨されない用途 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

日本政府によるGHS分類

金属腐食性化学品	区分 1
急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	区分 3
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9767 - ICH/USP Oral Target Elements Standard B

改訂日 06-9-2023

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ない 区分 2
区分 2 呼吸器。	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2
区分 2 呼吸器、歯。	
誤えん有害性	区分に該当しない
水生環境有害性 短期(急性)	区分 2
水生環境有害性 長期(慢性)	区分 2
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素



注意喚起語

危険

危険有害性情報

日本政府によるGHS分類

吸入すると有毒

皮膚刺激

強い眼刺激

臓器の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

長期継続的影響によって水生生物に毒性

金属腐食のおそれ

以下の臓器の障害のおそれ： 呼吸器。

長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ： 呼吸器、歯。

注意書き

安全対策

- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること
- 取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと
- 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと
- 環境への放出を避けること
- 他の容器に移し替えないこと
- 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること

応急措置

- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること
- 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9767 - ICH/USP Oral Target Elements Standard B

改訂日 06-9-2023

- 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること
- 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹼)で洗うこと
- 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- 医師に連絡すること
- 漏出物を回収すること
- 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること

保管

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと
- 施錠して保管すること
- 耐腐食性／耐腐食性内張りのある容器に保管すること

廃棄

- 内容物／容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

他の危険有害性

情報なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学的性質 水溶液

化学品の名称	CAS No.	重量%	化審法インベ ントリ	化審法番号	安衛法インベ ントリ	安衛法番号
Nitric Acid	7697-37-2	0 - 10%	既存	(1)-394	既存	(1)-394

追加情報

この SDS に記載された酸の濃度は、絶対質量濃度(% w/w)として計算されています。これは製品ラベルおよび COA に記載された酸濃度より低く、市販の濃縮水性形の酸のパーセント値を反映しています。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

表示対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9767 - ICH/USP Oral Target Elements Standard B

改訂日 06-9-2023

該当しない

4. 応急措置

一般的なアドバイス	治療を行う医師にこのSDSを示すこと。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移すこと。症状が出た場合には、直ちに医師の手当てをうけること。ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行うこと。直ちに医師の手当てを受けること。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。負傷者がその物質を飲み込んだり吸入した場合には口移し法は使わないこと。一方向弁付きポケット・マスク又は他の適切な呼吸医療装置を使用して人工呼吸を行うこと。呼吸が困難な場合には、(資格のある者が)酸素吸入を行うこと。
皮膚に付着した場合	直ちに石けん(鹸)と多量の水で少なくとも15分間洗い落とすこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
眼に入った場合	直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。洗っている間は眼を大きく広げてたままにすること。受傷部をこすらないこと。刺激が生じて長引くときは、医師の手当てをうけること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。無理に吐かせないこと。直ちに医師又は中毒情報センターに連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。灼熱感。咳及び／又は喘鳴。呼吸困難。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。医療者が物質の関与を認識していることを確認し、彼ら自身の保護及び汚染の拡大を防止するための措置を講じること。負傷者がその物質を飲み込んだり吸入した場合には口移し法は使わないこと。一方向弁付きポケット・マスク又は他の適切な呼吸医療装置を使用して人工呼吸を行うこと。蒸気やミストを吸い込まないこと。指定された個人用保護具を着用すること。詳細については項目8を参照。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させないこと。
特有の危険有害性	情報なし。
特有の消火方法	水噴霧でドラムを冷却すること。

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9767 - ICH/USP Oral Target Elements Standard B

改訂日 06-9-2023

大規模火災

警告：放水では十分な消火の効果を得られない場合がある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び 予防措置

消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急 急時措置

皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。十分換気されているか確認すること。指定された個人用保護具を着用すること。人員を安全な区域に退避させること。蒸気やミストを吸い込まないこと。人員を漏出／漏えい(洩)の風上に遠ざけること。

緊急対応を行う者のための保護具

項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項

安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

封じ込め方法

安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法

回収して適切に表示された容器に移すこと。

二次災害の防止策

汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

その他の情報

項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。蒸気やミストを吸い込まないこと。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。製品の取扱いを閉鎖系内に限定するか適切な排気式換気を設けること。

衛生対策

皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。休憩前及び作業後に手を洗うこと。適切な手袋及び眼／顔面保護具を着用する。機器、作業区域及び衣類を定期的にクリーニングすることが推奨される。蒸気やミストを吸い込まないこと。汚染された衣類及び手袋は脱ぎ、再使用する前に内側を含めて洗濯すること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。休憩前及び製品の取扱い直後に手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

特定の保管方法や輸送時の温度条件については、製造者証明書を参照すること。保証書内に他の指示がない限りは、もとの容器で保管すること。容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。湿気を遮断すること。施錠して保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。隔離して保管すること。

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9767 - ICH/USP Oral Target Elements Standard B

改訂日 06-9-2023

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 シャワー
洗眼場
換気システム。

許容濃度

化学品の名称	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
Nitric Acid 7697-37-2	TWA: 2 ppm TWA: 5.2 mg/m ³	-	STEL: 4 ppm TWA: 2 ppm

生物学的職業性ばく露限界値 供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性物質を一切含んでいない

環境ばく露防止 いかなる下水管の中、地面上又はいかなる水域中にも侵入させないこと。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気及び排気が必要になる。

手の保護具 ネオプレン™製の保護手袋を着用すること。使用される保護手袋はEC指令89/686/EECの仕様および関連する標準EN374に準拠している必要があり。適切な手袋を着用する。不透性手袋。

眼、顔面の保護具 眼に入らないようにする。サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。薬液飛沫が生じる可能性がある場合には、サイドシールド付きの安全眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。長袖の衣類。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観	液体
物理状態	液体
色	無色
臭い	無臭
臭いのしきい値	情報なし

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9767 - ICH/USP Oral Target Elements Standard B

改訂日 06-9-2023

特性	値	備考・方法
融点／凝固点	0 °C / 32 °F	情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	100 °C / 212 °F	情報なし
可燃性(固体、気体)		情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		
爆発又は可燃の上限界		
爆発又は可燃の下限界		
引火点		情報なし
蒸発速度		情報なし
自然発火点		情報なし
分解温度	100 °C / 212 °F	情報なし
pH		情報なし
粘度		
動粘性率		情報なし
動的粘度		情報なし
水への溶解度		情報なし
溶解度		情報なし
n-オクタノール／水分係数(log値)		情報なし
蒸気圧	23 hPa	@ 20°C
相対ガス密度		情報なし
相対密度	0.99821 g/cm ³ at 20 °C	情報なし
粒子特性		
粒径		該当しない
粒径分布		該当しない
その他の情報		
爆発性	情報なし	
酸化特性	情報なし	

10: 安定性及び反応性

反応性	情報なし。
化学的安定性	通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性	通常のプロセスではない。
避けるべき条件	長期間にわたる空気又は湿気へのばく露。過剰な熱。
混触危険物質	酸化剤。強酸。強塩基。
危険有害な分解生成物	提供された情報に基づき知見なし。
爆発データ	
静電放電に対する感度	なし。
機械的衝撃に対する感度	なし。

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9767 - ICH/USP Oral Target Elements Standard B

改訂日 06-9-2023

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている

ATEmix(経口)	99,999.00 mg/kg
ATEmix(経皮)	99,999.00 mg/kg
ATEmix(吸入 - ガス)	99,999.00 ppm
ATEmix(吸入 - 粉じん/ミスト)	99,999.0000 mg/l
ATEmix(吸入 - 蒸気)	2.63 mg/l

化学品の名称	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
Nitric Acid	-	-	= 2500 ppm (Rat) 1 h ATE (vapours) = 2.65 mg/L

略語及び頭文字

Rat: ラット

症状 発赤。眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。咳及び/又は喘鳴。呼吸困難。

製品情報

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔吐、及び下痢を引き起こすおそれがある。

吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。吸入すると有毒である。(成分に基づく)。

皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。皮膚刺激。(成分に基づく)。

眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。強い眼刺激。(成分に基づく)。発赤、搔痒感、及び痛みを引き起こすおそれがある。

皮膚腐食性/刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。強い眼刺激。

呼吸器感受性又は皮膚感受性 分類できない。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9767 - ICH/USP Oral Target Elements Standard B

改訂日 06-9-2023

発がん性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。
生殖毒性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。
標的臓器影響	呼吸器。眼。皮膚。歯。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	国又は地域で採用され、SDSが準拠している世界調和システム(GHS)の分類基準に基づき、この製品は急性のばく露に起因して全身標的臓器毒性を引き起こすと判定されている。(STOT SE)。臓器の障害のおそれ。 以下の臓器の障害のおそれ： 呼吸器。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。 長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ： 呼吸器、歯。
誤えん有害性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。区分に該当しない。

12. 環境影響情報

生態毒性	長期継続的影響によって水生生物に毒性。				
未知の危険有害性物質の濃度	混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。				
残留性・分解性	情報なし。				
生体蓄積性	この製品のデータはない。				
成分情報					
<table><thead><tr><th>化学品の名称</th><th>分配係数</th></tr></thead><tbody><tr><td>Nitric Acid 7697-37-2</td><td>-2.3</td></tr></tbody></table>		化学品の名称	分配係数	Nitric Acid 7697-37-2	-2.3
化学品の名称	分配係数				
Nitric Acid 7697-37-2	-2.3				
他の有害影響	情報なし。				

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9767 - ICH/USP Oral Target Elements Standard B

改訂日 06-9-2023

この製品は、既知の内分泌かく乱物質又は内分泌かく乱が疑われる物質を一切含有していない。

化学品の名称	EU-REACH(1907/2006)-第59条(1)-高懸念物質の認可対象候補物質リスト	EU-REACH(1907/2006)-内分泌かく乱作用評価対象物質リスト	内分泌かく乱の可能性
Nitric Acid	-	-	-

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG

国連番号又はID番号 UN3264
品名(国連輸送名) Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid)
説明 UN3264, Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid), 8, III, 海洋汚染物質
国連分類(輸送における危険有害性8クラス)
容器等級 III
海洋汚染物質 P
EmS-No. F-A, S-B
特別条項 223, 274

ADR

国連番号又はID番号 UN3264
品名(国連輸送名) Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid)
説明 UN3264, Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid), 8, III, (E), 環境に対する有害性
国連分類(輸送における危険有害性8クラス)
容器等級 III
海洋汚染物質 該当する
ERGコード 8L
特別条項 274

IATA

国連番号又はID番号 UN3264
品名(国連輸送名) Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid)
説明 UN3264, Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid), 8, III
国連分類(輸送における危険有害性8クラス)
容器等級 III
特別条項 A3, A803

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9767 - ICH/USP Oral Target Elements Standard B

改訂日 06-9-2023

ERGコード 8L

日本

国連番号又はID番号 UN3264
品名(国連輸送名) Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid)
説明 UN3264, Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid), 8, III
国連分類(輸送における危険有害性
クラス) 8
容器等級 III
環境有害性 該当する

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

健康診断を要する有害物質

健康診断 - 労働安全衛生法第66条、労働安全衛生法施行令第22条、及び特定化学物質等障害予防規則、別表第5

通知対象物質

該当しない

労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度

作業環境測定を行うべき作業場(労働安全衛生法施行令第21条及び作業環境評価基準 - 実行上の管理レベル)。詳細な仕様については、SDSの項目8を参照。

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

船舶安全法

詳細については項目14を参照

航空法

詳細については項目14を参照

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

港則法

詳細については項目14を参照

労働基準法

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び化学物質の成分及び化合物と労働者の健康障害を指定する通告別表第1の2、項目4の1

水質汚濁防止法

水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第2条で定める有害物質

人の健康もしくは生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質として水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第3条の

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9767 - ICH/USP Oral Target Elements Standard B

改訂日 06-9-2023

3で定める指定物質

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

廃棄物の処理及び清掃に関する法律、第2条、及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第2条の4に定める特別管理産業廃棄物

下水道法

下水道法第12条の2及び下水道法施行令第9条の4

水道法

水道法第4条、法定水質基準

水道法第4条、水質管理目標設定項目

水道法 - 要検討項目

大気汚染防止法

大気汚染防止法第2条、第1項、第3号及び大気汚染防止法施行令第1条で定める有害物質(HAP)

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

TSCA

適合する。

DSL/NDSL

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

EINECS/ELINCS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

化審法インベントリ

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

IECSC

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

KECL

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

PICCS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

AICS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

凡例:

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー

DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト

EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー/欧州新規届出商業用化学物質リスト

ENCS - 化審法既存物質

IECSC - 中国現有化学物質名録

KECL - 韓国既存化学物質目録

PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー

16. その他の情報

改訂日

06-9-2023

改訂記録

SDSの余白にある記号(*)は、その行が改訂されたことを示す。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 8: ばく露防止及び保護措置

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9767 - ICH/USP Oral Target Elements Standard B

改訂日 06-9-2023

TWA *	TWA(時間加重平均) 皮膚兆候	天井値 +	最大限界値 感作性物質
----------	---------------------	----------	----------------

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)
米国環境保護庁ChemViewデータベース
欧州化学品局
欧州食品安全機関(EFSA)
EPA (環境保護庁)
急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
危険有害性物質データベース
国際統一化学情報データベース(IUCLID)
日本政府によるGHS分類
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)
NIOSH(米国労働安全衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)
米国国家毒性プログラム(NTP)
ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
世界保健機構

免責事項

このデータシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。。

安全データシートのおわり



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

改訂日 06-9-2023

改訂番号 1

1. 化学品及び会社情報

製品名 ICH/USP Oral Target Elements Std C_v2
製品コード 5191-4555
登録番号 情報なし

安全データシートの供給者の詳細

供給者

アジレント・テクノロジー株式会社
住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

電話番号 +81-42-660-3111

緊急連絡電話番号
CHEMTREC®: +(81)-345209637

電子メールアドレス pdl-msds_author@agilent.com

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 分析化学研究所用の試薬および基準

推奨されない用途

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

日本政府によるGHS分類

金属腐食性化学品	区分 1
急性毒性(経口)	区分 4
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - ガス	区分 4
急性毒性(吸入) - 蒸気	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	区分 3
皮膚腐食性/刺激性	区分 1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
呼吸器感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響はない

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5191-4555 - ICH/USP Oral Target Elements Std C_v2

改訂日 06-9-2023

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2
区分 2 呼吸器。	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2
区分 2 呼吸器、歯。	
誤えん有害性	区分に該当しない
水生環境有害性 短期(急性)	区分 2
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素



危険

注意喚起語

危険有害性情報

日本政府によるGHS分類

飲み込むと有害

吸入すると有毒

吸入すると有害

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ

臓器の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

水生生物に毒性

金属腐食のおそれ

以下の臓器の障害のおそれ： 呼吸器。

長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ： 呼吸器、歯。

注意書き

安全対策

- 取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと
- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること
- 【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること
- 環境への放出を避けること
- 他の容器に移し替えないこと

応急措置

- 直ちに医師に連絡すること
- ばく露又はばく露の懸念がある場合： 医師に連絡すること

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5191-4555 - ICH/USP Oral Target Elements Std C_v2

改訂日 06-9-2023

- 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること
 - 直ちに医師に連絡すること
 - 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
 - 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること
 - 口をすすぐこと
 - 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと
 - 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと
 - 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること
 - 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
 - 医師に連絡すること
 - 気分が悪いときは医師に連絡すること
 - 直ちに医師に連絡すること
 - 呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること
 - 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること
- 保管**
- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと
 - 施錠して保管すること
 - 耐腐食性／耐腐食性内張りのある容器に保管すること
- 廃棄**
- 内容物／容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

他の危険有害性

情報なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学的性質 水溶液

化学品の名称	CAS No.	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
塩化水素	7647-01-0	0 - 10%	既存	(1)-215	既存	(1)-215

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

表示対象物質

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5191-4555 - ICH/USP Oral Target Elements Std C_v2

改訂日 06-9-2023

Harmful Substances - names to be indicated on the label; Industrial Safety and Health Law enforcement order Table 9 (related to Industrial Safety and Health Law article 57 and ISHL Ordinance Article 33)

化学品の名称	CAS No.	区分	政令番号	含有率 %
塩化水素	7647-01-0	表示対象物質		

毒物及び劇物取締法
該当しない

4. 応急措置

一般的なアドバイス

治療を行う医師にこのSDSを示すこと。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移すこと。呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行うこと。直ちに医師の手当てを受けること。負傷者がその物質を飲み込んだり吸入した場合には口移し法は使わないこと。一方向弁付きポケット・マスク又は他の適切な呼吸医療装置を使用して人工呼吸を行うこと。呼吸が困難な場合には、(資格のある者が)酸素吸入を行うこと。遅発性の肺水腫が生じるおそれがある。直ちに医師の診察／手当てを受けること。アレルギー性呼吸器反応を起こすおそれ。皮膚に直接触れないようにすること。口対口の人工呼吸を行う際はバリアを使用すること。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

皮膚に付着した場合

汚染された衣服及び靴を脱ぎ、直ちに石けん(鹼)と多量の水で洗うこと。直ちに医師の診察／手当てを受けること。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

眼に入った場合

直ちに少なくとも15分間まぶた(眼)の裏側まで多量の水で洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。洗っている間は眼を大きく広げてたままにすること。受傷部をこすらないこと。直ちに医師の診察／手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。無理に吐かせないこと。直ちに医師の診察／手当てを受けること。アレルギー性反応を起こすおそれ。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

灼熱感。吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ。咳及び／又は喘鳴。搔痒感。発疹。じんま疹。呼吸困難。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。医療者が物質の関与を認識していることを確認し、彼ら自身の保護及び汚染の拡大を防止するための措置を講じること。指定された個人用保護具を着用すること。詳細については項目8を参照。負傷者がその物質を飲み込んだり吸入した場合には口移し法は使わないこと。一方向弁付きポケット・マスク又は他の適切な呼吸医療装置を使用して人工呼吸を行うこと。蒸気やミストを吸い込まないこと。

医師に対する特別な注意事項

この製品は腐食性物質である。胃洗浄の使用又は嘔吐は禁忌である。胃穿孔又は食道穿孔がないか調べること。化学的解毒薬を与えないこと。声門の浮腫により窒息が生じるおそれがある。湿性ラ音、泡状の痰及び高脈拍圧を伴う著しい血圧低下が発生する場合がある。敏感な個人に感作を引き起こすおそれがある。症状に応じて治療すること。

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5191-4555 - ICH/USP Oral Target Elements Std C_v2

改訂日 06-9-2023

5. 火災時の措置

適切な消火剤	現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させないこと。
特有の危険有害性	本製品は眼、皮膚、及び粘膜の葉傷を引き起こす。熱分解すると刺激性のガス及び蒸気を放出することがある。製品は感作性物質である、又は感作性物質を含む。吸入及び皮膚接触により感作を引き起こすことがある。
特有の消火方法 大規模火災	水噴霧でドラムを冷却すること。 警告：放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。
消火活動を行う者の特別な保護具及び 予防措置	消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急 時措置	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。十分換気されているか確認すること。指定された個人用保護具を着用すること。注意！ 腐食性物質。人員を安全な区域に退避させること。人員を漏出／漏えい(洩)の風上に遠ざけること。蒸気やミストを吸い込まないこと。蒸気又はミストを吸い込まないようにすること。
緊急対応を行う者のための保護具	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。環境中に放出してはならない。表土／下層土に侵入させないようにすること。製品が排水路に入らないようにすること。
封じ込め方法	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。
浄化方法	回収して適切に表示された容器に移すこと。
二次災害の防止策	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。
その他の情報	項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項	産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。製品の取扱いを閉鎖系内に限定するか適切な排気式換気を設けること。この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしない
----------	---

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5191-4555 - ICH/USP Oral Target Elements Std C_v2

改訂日 06-9-2023

こと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。放出が発生する場所には排気換気を設けること。汚染された衣類及び靴を脱ぐこと。蒸気やミストを吸い込まないこと。

衛生対策

皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。休憩前及び作業後に手を洗うこと。適切な手袋及び眼／顔面保護具を着用する。機器、作業区域及び衣類を定期的にクリーニングすることが推奨される。汚染された衣類及び手袋は脱ぎ、再使用する前に内側を含めて洗濯すること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。休憩前及び製品の取扱い直後に手を洗うこと。蒸気やミストを吸い込まないこと。

保管

安全な保管条件

特定の保管方法や輸送時の温度条件については、製造者証明書を参照すること。保証書内に他の指示がない限りは、もとの容器で保管すること。容器を密閉して乾燥した涼しく換気の良い場所に保管すること。湿気を遮断すること。施錠して保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。隔離して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

シャワー
洗眼場
換気システム。

許容濃度

化学品の名称	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
塩化水素 7647-01-0	Ceiling: 2 ppm Ceiling: 3.0 mg/m ³	-	Ceiling: 2 ppm

生物学的職業性ばく露限界値

供給時のこの製品は、各地域の規制機関が独自に生物学的制限値を定めている危険有害性物質を一切含んでいない

環境ばく露防止

いかなる下水管の中、地面上又はいかなる水域中にも侵入させないこと。

保護具

呼吸用保護具

通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気及び排気が必要になる。

手の保護具

ニトリルゴム製の保護手袋を着用すること。使用される保護手袋はEC指令89/686/EECの仕様および関連する標準EN374に準拠している必要があり。適切な手袋を着用する。不透水性手袋。

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5191-4555 - ICH/USP Oral Target Elements Std C_v2

改訂日 06-9-2023

反応性	情報なし。
化学的安定性	通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性	通常のプロセスではない。
避けるべき条件	長期間にわたる空気又は湿気へのばく露。過剰な熱。
混触危険物質	酸化剤。酸。塩基。
危険有害な分解生成物	提供された情報に基づき知見なし。
爆発データ	
静電放電に対する感度	なし。
機械的衝撃に対する感度	なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている

ATEmix(経口)	1,801.80 mg/kg
ATEmix(経皮)	99,999.00 mg/kg
ATEmix(吸入-ガス)	12,612.60 ppm
ATEmix(吸入-粉じん/ミスト)	0.903 mg/l
ATEmix(吸入-蒸気)	99,999.00 mg/l

化学品の名称	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
塩化水素	238 - 277 mg/kg (Rat)	> 5010 mg/kg (Rabbit)	= 1.68 mg/L (Rat) 1 h

略語及び頭文字

Rat: ラット

Rabbit: ウサギ

症状

発赤。灼熱。失明を引き起こすおそれがある。咳及び/又は喘鳴。アレルギー性反応の症状には、発疹、掻痒感、腫脹、呼吸困難、手及び足の刺すような痛み、めまい、意識もろろ、胸痛、筋肉痛又は潮紅が含まれる場合がある。呼吸困難。

製品情報

経口

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。火傷を引き起こす。(成分に基づく)。飲み込むと消化管及び気道の上部に薬傷を引き起こす。暗色血の嘔吐及び下痢を伴う口及び胃内部の重篤な灼熱痛のおそれ。血圧低下のおそれ。口の周囲に褐色がかかった又は黄色

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5191-4555 - ICH/USP Oral Target Elements Std C_v2

改訂日 06-9-2023

がかった変色が見られる場合がある。喉の腫脹による息切れ及び窒息のおそれ。飲み込むと肺損傷を引き起こすおそれがある。飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。「吸入」の項目に記載されている追加的影響を生じるおそれ。

吸入

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。吸入すると腐食性である。(成分に基づく)。腐食性のヒューム/ガスを吸入すると、数時間にわたる咳、窒息、頭痛、めまい及び脱力感のおそれ。胸苦しき、息切れ、皮膚の青変、血圧低下、及び心拍数の増加を伴う肺水腫のおそれ。吸入された腐食性物質は毒性浮腫を引き起こす可能性がある。肺水腫は生命に危険である可能性がある。敏感な個人に感作を引き起こすおそれがある。吸入すると有毒である。吸入すると有害である。

皮膚接触

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。腐食性。(成分に基づく)。火傷を引き起こす。反復又は長期にわたるばく露による皮膚への接触は、敏感な人にアレルギー性反応を生じるおそれがある。

眼接触

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。重篤な眼の損傷。(成分に基づく)。眼に対して腐食性であり失明を含む重篤な損傷を生じるおそれがある。眼に対する不可逆な損傷を引き起こすおそれがある。

皮膚腐食性/刺激性

成分に対して利用可能なデータに基づく分類。重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

成分に対して利用可能なデータに基づく分類。重篤な眼の損傷。火傷を引き起こす。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ。

生殖細胞変異原性

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。

発がん性

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。

生殖毒性

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。

標的臓器影響

呼吸器。眼。皮膚。肺。鼻腔。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

国又は地域で採用され、SDSが準拠している世界調和システム(GHS)の分類基準に基づき、この製品は急性のばく露に起因して全身標的臓器毒性を引き起こすと判定されている。(STOT SE)。飲み込むと臓器の障害のおそれ。吸入すると臓器の障害のおそれ。

以下の臓器の障害のおそれ： 呼吸器。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5191-4555 - ICH/USP Oral Target Elements Std C_v2

改訂日 06-9-2023

長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ： 呼吸器、 歯。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 区分に該当しない。

12. 環境影響情報

生態毒性 水生生物に毒性。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性・分解性 情報なし。

生体蓄積性 情報なし。

他の有害影響 情報なし。

この製品は、既知の内分泌かく乱物質又は内分泌かく乱が疑われる物質を一切含有していない。

化学品の名称	EU-REACH(1907/2006)-第59条(1)-高懸念物質の認可対象候補物質リスト	EU-REACH(1907/2006)-内分泌かく乱作用評価対象物質リスト	内分泌かく乱の可能性
塩化水素	-	-	-

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG

国連番号又はID番号 UN1789
品名(国連輸送名) Hydrochloric acid solution
説明 UN1789, Hydrochloric acid solution, 8, II
国連分類(輸送における危険有害性クラス) 8



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5191-4555 - ICH/USP Oral Target Elements Std C_v2

改訂日 06-9-2023

容器等級 II
海洋汚染物質 NP
EmS-No. F-A, S-B

ADR

国連番号又はID番号 UN1789
品名(国連輸送名) Hydrochloric acid solution
説明 UN1789, Hydrochloric acid solution, 8, II, (E)
国連分類(輸送における危険有害性
クラス) 8
容器等級 II
ERGコード 8L
特別条項 520

IATA

国連番号又はID番号 UN1789
品名(国連輸送名) Hydrochloric acid solution
説明 UN1789, Hydrochloric acid solution, 8, II
国連分類(輸送における危険有害性
クラス) 8
容器等級 II
特別条項 A3, A803
ERGコード 8L

日本

国連番号又はID番号 UN1789
品名(国連輸送名) Hydrochloric acid solution
説明 UN1789, Hydrochloric acid solution, 8, II
国連分類(輸送における危険有害性
クラス) 8
容器等級 II

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

特定化学物質等(特化則)

特定化学物質(第3類物質)－労働安全衛生法施行令別表第3(第6条、第9-3条、第21条、第22条関係、及び特定化学物質障害予防規則)

健康診断を要する有害物質

健康診断 - 労働安全衛生法第66条、労働安全衛生法施行令第22条、及び特定化学物質等障害予防規則、別表第5

表示対象物質

Harmful Substances - names to be indicated on the label; Industrial Safety and Health Law enforcement order Table 9 (related to Industrial Safety and Health Law article 57 and ISHL Ordinance Article 33)

通知対象物質

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5191-4555 - ICH/USP Oral Target Elements Std C_v2

改訂日 06-9-2023

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

船舶安全法

詳細については項目14を参照

航空法

詳細については項目14を参照

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

港則法

詳細については項目14を参照

水質汚濁防止法

水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第2条で定める有害物質

人の健康もしくは生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質として水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第3条の3で定める指定物質

大気汚染防止法

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質

大気汚染防止法第17条、第1項及び大気汚染防止法施行令第10条で定める事故時の措置の対象となる特定物質

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

TSCA

Complies under research and development exemption or is regulated by a different government agency.

DSL/NDSL

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

EINECS/ELINCS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

化審法インベントリ

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

IECSC

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

KECL

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

PICCS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

AIIC

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

凡例:

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー

DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト / 非国内物質リスト

EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー / 欧州新規届出商業用化学物質リスト

ENCS - 化審法既存物質

IECSC - 中国現有化学物質名録

KECL - 韓国既存化学物質目録

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5191-4555 - ICH/USP Oral Target Elements Std C_v2

改訂日 06-9-2023

PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー
AICS - オーストラリア化学物質インベントリー

16. その他の情報

改訂日 06-9-2023
改訂記録 SDSの余白にある記号(*)は、その行が改訂されたことを示す。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 8: ばく露防止及び保護措置

TWA	TWA(時間加重平均)	天井値	最大限界値
*	皮膚兆候	+	感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁(ATSDR)
米国環境保護庁ChemViewデータベース
欧州化学品局
欧州食品安全機関(EFSA)
EPA(環境保護庁)
急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フードリサーチジャーナル(Food Research Journal)
危険有害性物質データベース
国際統一化学情報データベース(IUCLID)
日本政府によるGHS分類
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)
NIOSH(米国労働安全衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)
米国国家毒性プログラム(NTP)
ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
世界保健機構

免責事項

このデータシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。

安全データシートのおわり



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

改訂日 06-9-2023

改訂番号 1

1. 化学品及び会社情報

製品名 ICH/USP Oral Target Elements Standard D
製品コード 5190-9769
登録番号 情報なし

安全データシートの供給者の詳細

供給者

アジレント・テクノロジー株式会社
住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

電話番号 +81-42-660-3111

緊急連絡電話番号
CHEMTREC®: +(81)-345209637

電子メールアドレス pdl-msds_author@agilent.com

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 分析化学研究所用の試薬および基準

推奨されない用途

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

日本政府によるGHS分類

金属腐食性化学品	区分 1
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	分類できない
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9769 - ICH/USP Oral Target Elements Standard D

改訂日 06-9-2023

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ない
区分2 呼吸器。	区分2
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2
区分2 呼吸器、歯。	
誤えん有害性	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	区分1
水生環境有害性 長期(慢性)	区分1
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素



注意喚起語

危険

危険有害性情報

日本政府によるGHS分類

皮膚刺激

重篤な眼の損傷

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

臓器の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

金属腐食のおそれ

以下の臓器の障害のおそれ： 呼吸器。

長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ： 呼吸器、歯。

注意書き

安全対策

- 取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと
- 環境への放出を避けること
- 他の容器に移し替えないこと

応急措置

- ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること
- 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9769 - ICH/USP Oral Target Elements Standard D

改訂日 06-9-2023

- 直ちに医師に連絡すること
- 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹼)で洗うこと
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること
- 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること
- 漏出物を回収すること
- 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること

保管

- 施錠して保管すること
- 耐腐食性／耐腐食性内張りのある容器に保管すること

廃棄

- 内容物／容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

他の危険有害性

情報なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学的性質 水溶液

化学品の名称	CAS No.	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
Nitric Acid	7697-37-2	0 - 10%	既存	(1)-394	既存	(1)-394
Chromium (III) nitrate nonahydrate	7789-02-8	0 - 10%	既存	(1)-281	既存	(1)-281
Copper	7440-50-8	0 - 10%	除外	-	-	
Antimony	7440-36-0	0 - 10%	除外	-	-	
hydrofluoric acid	7664-39-3	0 - 10%	既存	(1)-306	既存	(1)-306

追加情報

この SDS に記載された酸の濃度は、絶対質量濃度(% w/w)として計算されています。これは製品ラベルおよび COA に記載された酸濃度より低く、市販の濃縮水性形の酸のパーセント値を反映しています。

当製品は、発がん性区分2 に分類される成分を0.1%以上1.0%未満含有している。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

表示対象物質

該当しない

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9769 - ICH/USP Oral Target Elements Standard D

改訂日 06-9-2023

毒物及び劇物取締法
該当しない

4. 応急措置

一般的なアドバイス	治療を行う医師にこのSDSを示すこと。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移すこと。症状が出た場合には、直ちに医師の手当てをうけること。ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	直ちに石けん(鹸)と多量の水で少なくとも15分間洗い落とすこと。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
眼に入った場合	直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。洗っている間は眼を大きく広げてたままにすること。受傷部をこすらないこと。直ちに医師の診察／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。無理に吐かせないこと。医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	灼熱感。掻痒感。発疹。じんま疹。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。個人用保護衣を着用すること(項目8を参照)。
医師に対する特別な注意事項	敏感な個人に感作を引き起こすおそれがある。症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させないこと。
特有の危険有害性	製品は感作性物質である、又は感作性物質を含む。皮膚接触により感作を引き起こすことがある。
特有の消火方法 大規模火災	水噴霧でドラムを冷却すること。 警告：放水では十分な消火の効果を得られない場合がある。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9769 - ICH/USP Oral Target Elements Standard D

改訂日 06-9-2023

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。十分換気されているか確認すること。指定された個人用保護具を着用すること。人員を安全な区域に退避させること。人員を漏出／漏えい(洩)の風上に遠ざけること。
緊急対応を行う者のための保護具	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。
封じ込め方法	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。
浄化方法	回収して適切に表示された容器に移すこと。
二次災害の防止策	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。
その他の情報	項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項	産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。十分換気されているか確認すること。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
衛生対策	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。休憩前及び作業後に手を洗うこと。適切な手袋及び眼／顔面保護具を着用する。機器、作業区域及び衣類を定期的にクリーニングすることが推奨される。

保管

安全な保管条件	特定の保管方法や輸送時の温度条件については、製造者証明書を参照すること。保証書内に他の指示がない限りは、もとの容器で保管すること。容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。湿気を遮断すること。施錠して保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。隔離して保管すること。
---------	---

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	シャワー 洗眼場 換気システム。
------	------------------------

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9769 - ICH/USP Oral Target Elements Standard D

改訂日 06-9-2023

許容濃度

化学品の名称	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
Nitric Acid 7697-37-2	TWA: 2 ppm TWA: 5.2 mg/m ³	-	STEL: 4 ppm TWA: 2 ppm
Chromium (III) nitrate nonahydrate 7789-02-8	TWA: 0.5 mg/m ³	-	-
Copper 7440-50-8	-	-	TWA: 0.2 mg/m ³ fume
Antimony 7440-36-0	TWA: 0.1 mg/m ³	-	TWA: 0.5 mg/m ³
hydrofluoric acid 7664-39-3	Ceiling: 3 ppm Ceiling: 2.5 mg/m ³ S*	0.5 ppm	TWA: 0.5 ppm F S* Ceiling: 2 ppm F

生物学的職業性ばく露限界値

化学品の名称	日本産業衛生学会	ACGIH
hydrofluoric acid 7664-39-3		3 mg/g creatinine - urine (Fluoride) - prior to shift 10 mg/g creatinine - urine (Fluoride) - end of shift

環境ばく露防止

いかなる下水管の中、地面上又はいかなる水域中にも侵入させないこと。

保護具

呼吸用保護具

通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気及び排気が必要になる。

手の保護具

ネオプレン™製の保護手袋を着用すること。使用される保護手袋はEC指令89/686/EECの仕様および関連する標準EN374に準拠している必要があり。適切な手袋を着用する。不浸透性手袋。

眼、顔面の保護具

眼に入らないようにする。サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。密封性の高い安全ゴーグル。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用する。長袖の衣類。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9769 - ICH/USP Oral Target Elements Standard D

改訂日 06-9-2023

外観	液体	
物理状態	液体	
色	無色	
臭い	無臭	
臭いのしきい値	情報なし	
特性	値	備考・方法
融点/凝固点		情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲		情報なし
可燃性(固体、気体)		情報なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界		
爆発又は可燃の上限界		
爆発又は可燃の下限界		
引火点		情報なし
蒸発速度		情報なし
自然発火点		情報なし
分解温度		情報なし
pH		情報なし
粘度		
動粘性率		情報なし
動的粘度		情報なし
水への溶解度		情報なし
溶解度		情報なし
n-オクタノール/水分配係数(log値)		情報なし
蒸気圧		情報なし
相対ガス密度		情報なし
相対密度		情報なし
粒子特性		
粒径		該当しない
粒径分布		該当しない
その他の情報		
爆発性	情報なし	
酸化特性	情報なし	

10: 安定性及び反応性

反応性	情報なし。
化学的安定性	通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性	通常のプロセスではない。
避けるべき条件	長期間にわたる空気又は湿気へのばく露。
混触危険物質	酸化剤。強酸。強塩基。

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9769 - ICH/USP Oral Target Elements Standard D

改訂日 06-9-2023

危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。
機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている

ATEmix(吸入-ガス) 99,999.00 ppm

化学品の名称	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
Nitric Acid	-	-	= 2500 ppm (Rat) 1 h ATE (vapours) = 2.65 mg/L
Chromium (III) nitrate nonahydrate	= 3250 mg/kg (Rat)	-	-
Copper	-	-	> 5.11 mg/L (Rat) 4 h
Antimony	= 7000 mg/kg (Rat)	-	-
hydrofluoric acid	-	-	= 0.79 mg/L (Rat) 1 h

略語及び頭文字

Rat: ラット

症状 発赤。灼熱。失明を引き起こすおそれがある。掻痒感。発疹。じんま疹。眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。

製品情報

経口 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔吐、及び下痢を引き起こすおそれがある。

吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。皮膚接触により感作を引き起こすことがある。反復又は長期にわたるばく露による皮膚への接触は、敏感な人にアレルギー性反応を生じるおそれがある。(成分に基づく)。皮膚刺激。

眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。重篤な眼の損傷。眼に対する不可逆な損傷を引き起こすおそれがある。

皮膚腐食性/刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。皮膚刺激。

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9769 - ICH/USP Oral Target Elements Standard D

改訂日 06-9-2023

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。火傷を引き起こす。重篤な眼の損傷。

呼吸器感受性又は皮膚感受性 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

生殖細胞変異原性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。

発がん性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。

下表は各機関が何らかの成分を発がん性として記載しているかを示す。

化学品の名称	日本	IARC
Chromium (III) nitrate nonahydrate 7789-02-8		Group 3

凡例

IARC(国際癌研究機関)

グループ3-ヒトに対する発がん性について分類できない

生殖毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。

標的臓器影響 呼吸器。眼。皮膚。歯。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 国又は地域で採用され、SDSが準拠している世界調和システム(GHS)の分類基準に基づき、この製品は急性のばく露に起因して全身標的臓器毒性を引き起こすと判定されている。(STOT SE)。臓器の障害のおそれ。

以下の臓器の障害のおそれ： 呼吸器。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ： 呼吸器、歯。

誤えん有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9769 - ICH/USP Oral Target Elements Standard D

改訂日 06-9-2023

化学品の名称	藻類／水生植物	魚類	甲殻類
Copper	EC50: 0.031 - 0.054mg/L (96h, Pseudokirchneriella subcapitata) EC50: 0.0426 - 0.0535mg/L (72h, Pseudokirchneriella subcapitata)	LC50: 0.0068 - 0.0156mg/L (96h, Pimephales promelas) LC50: <0.3mg/L (96h, Pimephales promelas) LC50: =0.2mg/L (96h, Pimephales promelas) LC50: =0.052mg/L (96h, Oncorhynchus mykiss) LC50: =1.25mg/L (96h, Lepomis macrochirus) LC50: =0.3mg/L (96h, Cyprinus carpio) LC50: =0.8mg/L (96h, Cyprinus carpio) LC50: =0.112mg/L (96h, Poecilia reticulata)	EC50: =0.03mg/L (48h, Daphnia magna)
Antimony	-	LC50: >6.2 - 8.3mg/L (96h, Cyprinodon variegatus)	-
hydrofluoric acid	-	-	EC50: =270mg/L (48h, Daphnia species)

残留性・分解性 情報なし。

生体蓄積性 この製品のデータはない。

成分情報

化学品の名称	分配係数
Nitric Acid 7697-37-2	-2.3
hydrofluoric acid 7664-39-3	-1.4

他の有害影響 情報なし。

この製品は、既知の内分泌かく乱物質又は内分泌かく乱が疑われる物質を一切含有していない。

化学品の名称	EU-REACH(1907/2006)-第59条(1)-高懸念物質の認可対象候補物質リスト	EU-REACH(1907/2006)-内分泌かく乱作用評価対象物質リスト	内分泌かく乱の可能性
Nitric Acid	-	-	-
Chromium (III) nitrate nonahydrate	-	-	-
Copper	-	-	-
Antimony	-	-	-

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9769 - ICH/USP Oral Target Elements Standard D

改訂日 06-9-2023

hydrofluoric acid	-	-	-
-------------------	---	---	---

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。
汚染容器及び包装	空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG

国連番号又はID番号	UN3264
品名(国連輸送名)	Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid, hydrofluoric acid)
説明	UN3264, Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid, hydrofluoric acid), 8, II, 海洋汚染物質
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	8
容器等級	II
海洋汚染物質	P
EmS-No.	F-A, S-B
特別条項	274

ADR

国連番号又はID番号	UN3264
品名(国連輸送名)	Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid, hydrofluoric acid)
説明	UN3264, Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid, hydrofluoric acid), 8, II, (E), 環境に対する有害性
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	8
容器等級	II
海洋汚染物質	該当する
ERGコード	8L
特別条項	274

IATA

国連番号又はID番号	UN3264
品名(国連輸送名)	Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid, hydrofluoric acid)
説明	UN3264, Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid, hydrofluoric acid), 8, II
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	8
容器等級	III
特別条項	A3, A803
ERGコード	8L

日本

国連番号又はID番号	UN3264
------------	--------

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9769 - ICH/USP Oral Target Elements Standard D

改訂日 06-9-2023

品名(国連輸送名)	Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid, hydrofluoric acid)
説明	UN3264, Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid, hydrofluoric acid), 8, II
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	8
容器等級	II
環境有害性	該当する

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度

作業環境測定を行うべき作業場(労働安全衛生法施行令第21条及び作業環境評価基準 - 実行上の管理レベル)。詳細な仕様については、SDSの項目8を参照。

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

船舶安全法

詳細については項目14を参照

航空法

詳細については項目14を参照

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

港則法

詳細については項目14を参照

労働基準法

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び化学物質の成分及び化合物と労働者の健康障害を指定する通告別表第1の2、項目4の1

水質汚濁防止法

水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第2条で定める有害物質

人の健康もしくは生活環境に係る被害を生ずるおそれがある物質として水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第3条の3で定める指定物質

下水道法

下水道法第12条の2及び下水道法施行令第9条の4

水道法

水道法第4条、法定水質基準

水道法第4条、水質管理目標設定項目



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9769 - ICH/USP Oral Target Elements Standard D

改訂日 06-9-2023

水道法 - 要検討項目

大気汚染防止法

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質

大気汚染防止法第17条、第1項及び大気汚染防止法施行令第10条で定める事故時の措置の対象となる特定物質

大気汚染防止法第2条、第1項、第3号及び大気汚染防止法施行令第1条で定める有害物質(HAP)

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

TSCA

適合する。

DSL/NDSL

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

EINECS/ELINCS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

化審法インベントリ

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

IECSC

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

KECL

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

PICCS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

AIC

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

凡例:

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー

DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト

EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー/欧州新規届出商業用化学物質リスト

ENCS - 化審法既存物質

IECSC - 中国現有化学物質名録

KECL - 韓国既存化学物質目録

PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー

16. その他の情報

改訂日

06-9-2023

改訂記録

SDSの余白にある記号(*)は、その行が改訂されたことを示す。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 8: ばく露防止及び保護措置

TWA

TWA(時間加重平均)

天井値

最大限界値

*

皮膚兆候

+

感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁(ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局

欧州食品安全機関(EFSA)



安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9769 - ICH/USP Oral Target Elements Standard D

改訂日 06-9-2023

EPA (環境保護庁)
急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
危険有害物質データベース
国際統一化学情報データベース(IUCLID)
日本政府によるGHS分類
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)
NIOSH(米国労働安全衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)
米国国家毒性プログラム(NTP)
ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
世界保健機構

免責事項

このデータシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。。

安全データシートのおわり

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

改訂日 26-10-2023

改訂番号 1.01

1. 化学品及び会社情報

製品名 Pharma Internal Standard 1

製品コード 5190-9770

登録番号 情報なし

安全データシートの供給者の詳細

供給者

アジレント・テクノロジー株式会社
住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

電話番号 +81-42-660-3111

緊急連絡電話番号
CHEMTREC®: +(81)-345209637

電子メールアドレス pdl-msds_author@agilent.com

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 分析化学研究所用の試薬および基準

推奨されない用途 情報なし

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

日本政府によるGHS分類

金属腐食性化学品	区分 1
急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - ガス	区分に該当しない
急性毒性(吸入) - 蒸気	区分 3
急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	授乳に対する又は授乳を介した影響は

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9770 - Pharma Internal Standard 1

改訂日 26-10-2023

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ない
区分2 呼吸器。	区分2
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2
区分2 呼吸器、歯。	
誤えん有害性	区分に該当しない
水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素



注意喚起語

危険

危険有害性情報

日本政府によるGHS分類

吸入すると有毒

皮膚刺激

強い眼刺激

臓器の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

金属腐食のおそれ

以下の臓器の障害のおそれ： 呼吸器。

長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ： 呼吸器、歯。

注意書き

安全対策

- ・屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること
- ・取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと
- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと
- ・他の容器に移し替えないこと
- ・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること

応急措置

- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること
- ・気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- ・眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること
- ・皮膚に付着した場合：多量の水と石けん(鹸)で洗うこと

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9770 - Pharma Internal Standard 1

改訂日 26-10-2023

- 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- 医師に連絡すること
- 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること

保管

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと
- 施錠して保管すること
- 耐腐食性／耐腐食性内張りのある容器に保管すること

廃棄

- 内容物／容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

他の危険有害性

情報なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学的性質 水溶液

化学品の名称	CAS No.	重量%	化審法インベントリ	化審法番号	安衛法インベントリ	安衛法番号
Nitric Acid	7697-37-2	0 - 10%	既存	(1)-394	既存	(1)-394
hydrofluoric acid	7664-39-3	0 - 10%	既存	(1)-306	既存	(1)-306

追加情報

この SDS に記載された酸の濃度は、絶対質量濃度(% w/w)として計算されています。これは製品ラベルおよび COA に記載された酸濃度より低く、市販の濃縮水性形の酸のパーセント値を反映しています。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

表示対象物質

Harmful Substances - names to be indicated on the label; Industrial Safety and Health Law enforcement order Table 9 (related to Industrial Safety and Health Law article 57 and ISHL Ordinance Article 33)

化学品の名称	CAS No.	区分	政令番号	含有率 %
Nitric Acid	7697-37-2	表示対象物質		

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9770 - Pharma Internal Standard 1

改訂日 26-10-2023

毒物及び劇物取締法
該当しない

4. 応急措置

一般的なアドバイス	治療を行う医師にこのSDSを示すこと。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移すこと。症状が出た場合には、直ちに医師の手当てをうけること。ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。呼吸が停止している場合には、人工呼吸を行うこと。直ちに医師の手当てを受けること。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。負傷者がその物質を飲み込んだり吸入した場合には口移し法は使わないこと。一方向弁付きポケット・マスク又は他の適切な呼吸医療装置を使用して人工呼吸を行うこと。呼吸が困難な場合には、(資格のある者が)酸素吸入を行うこと。
皮膚に付着した場合	直ちに石けん(鹼)と多量の水で少なくとも15分間洗い落とすこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
眼に入った場合	直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。洗っている間は眼を大きく広げてそのままにすること。受傷部をこすらないこと。刺激が生じて長引くときは、医師の手当てをうけること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。無理に吐かせないこと。直ちに医師又は中毒情報センターに連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。灼熱感。咳及び／又は喘鳴。呼吸困難。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。医療者が物質の関与を認識していることを確認し、彼ら自身の保護及び汚染の拡大を防止するための措置を講じること。負傷者がその物質を飲み込んだり吸入した場合には口移し法は使わないこと。一方向弁付きポケット・マスク又は他の適切な呼吸医療装置を使用して人工呼吸を行うこと。蒸気やミストを吸い込まないこと。指定された個人用保護具を着用すること。詳細については項目8を参照。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させないこと。
特有の危険有害性	情報なし。

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9770 - Pharma Internal Standard 1

改訂日 26-10-2023

特有の消火方法 大規模火災	水噴霧でドラムを冷却すること。 警告：放水では十分な消火の効果を得られない場合がある。
消火活動を行う者の特別な保護具及び 予防措置	消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急 時措置	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。十分換気されているか確認すること。指定された個人用保護具を着用すること。人員を安全な区域に退避させること。蒸気やミストを吸い込まないこと。人員を漏出／漏えい(洩)の風上に遠ざけること。
緊急対応を行う者のための保護具	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。
封じ込め方法	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。
浄化方法	回収して適切に表示された容器に移すこと。
二次災害の防止策	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。
その他の情報	項目7及び項目8に記載されている保護措置を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項	産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。蒸気やミストを吸い込まないこと。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。製品の取扱いを閉鎖系内に限定するか適切な排気式換気を設けること。
衛生対策	皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。休憩前及び作業後に手を洗うこと。適切な手袋及び眼／顔面保護具を着用する。機器、作業区域及び衣類を定期的にクリーニングすることが推奨される。蒸気やミストを吸い込まないこと。汚染された衣類及び手袋は脱ぎ、再使用する前に内側を含めて洗濯すること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。休憩前及び製品の取扱い直後に手を洗うこと。

保管

安全な保管条件	特定の保管方法や輸送時の温度条件については、製造者証明書を参照すること。保証書内に他の指示がない限りは、もとの容器で保管すること。容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。湿気を遮断すること。施錠して保管すること。子供の手
---------	---

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9770 - Pharma Internal Standard 1

改訂日 26-10-2023

の届かない場所に保管すること。隔離して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

シャワー
洗眼場
換気システム。

許容濃度

化学品の名称	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度	ACGIH TLV
Nitric Acid 7697-37-2	TWA: 2 ppm TWA: 5.2 mg/m ³	-	STEL: 4 ppm TWA: 2 ppm
hydrofluoric acid 7664-39-3	Ceiling: 3 ppm Ceiling: 2.5 mg/m ³ S*	0.5 ppm	TWA: 0.5 ppm F S* Ceiling: 2 ppm F

生物学的職業性ばく露限界値

化学品の名称	日本産業衛生学会	ACGIH
hydrofluoric acid 7664-39-3		3 mg/g creatinine - urine (Fluoride) - prior to shift 10 mg/g creatinine - urine (Fluoride) - end of shift

環境ばく露防止

いかなる下水管の中、地面上又はいかなる水域中にも侵入させないこと。

保護具

呼吸用保護具

通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気及び排気が必要になる。

手の保護具

ネオプレン™製の保護手袋を着用すること。使用される保護手袋はEC指令89/686/EECの仕様および関連する標準EN374に準拠している必要があり。適切な手袋を着用する。不浸透性手袋。

眼、顔面の保護具

眼に入らないようにする。サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。薬液飛沫が生じる可能性がある場合には、サイドシールド付きの安全眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用する。長袖の衣類。

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9770 - Pharma Internal Standard 1

改訂日 26-10-2023

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観	液体	
物理状態	液体	
色	無色	
臭い	無臭	
臭いのしきい値	情報なし	
特性	値	備考・方法
融点／凝固点		情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲		情報なし
可燃性(固体、気体)		情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		
爆発又は可燃の上限界		
爆発又は可燃の下限界		
引火点		情報なし
蒸発速度		情報なし
自然発火点		情報なし
分解温度		情報なし
pH		情報なし
粘度		
動粘性率		情報なし
動的粘度		情報なし
水への溶解度		情報なし
溶解度		情報なし
n-オクタノール／水分配係数(log値)		情報なし
蒸気圧		情報なし
相対ガス密度		情報なし
相対密度		情報なし
粒子特性		
粒径		該当しない
粒径分布		該当しない

その他の情報

爆発性	情報なし
酸化特性	情報なし

10: 安定性及び反応性

反応性	情報なし。
化学的安定性	通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性	通常のプロセスではない。

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9770 - Pharma Internal Standard 1

改訂日 26-10-2023

避けるべき条件	長期間にわたる空気又は湿気へのばく露。過剰な熱。
混触危険物質	酸化剤。強酸。強塩基。
危険有害な分解生成物	提供された情報に基づき知見なし。
爆発データ	
静電放電に対する感度	なし。
機械的衝撃に対する感度	なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている

ATEmix(経口)	5,010.00 mg/kg
ATEmix(経皮)	300,000.00 mg/kg
ATEmix(吸入-ガス)	99,999.00 ppm
ATEmix(吸入-粉じん/ミスト)	99,999.00 mg/l
ATEmix(吸入-蒸気)	2.63 mg/l

化学品の名称	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
Nitric Acid	-	-	= 2500 ppm (Rat) 1 h ATE (vapours) = 2.65 mg/L
hydrofluoric acid	-	-	= 0.79 mg/L (Rat) 1 h

略語及び頭文字

Rat: ラット

症状 発赤。眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。咳及び/又は喘鳴。呼吸困難。

製品情報

経口	この化学物質又は混合物の特定試験データはない。飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔吐、及び下痢を引き起こすおそれがある。
吸入	この化学物質又は混合物の特定試験データはない。吸入すると有毒である。(成分に基づく)。
皮膚接触	この化学物質又は混合物の特定試験データはない。皮膚刺激。(成分に基づく)。
眼接触	この化学物質又は混合物の特定試験データはない。強い眼刺激。(成分に基づく)。発赤、搔痒感、及び痛みを引き起こすおそれがある。

皮膚腐食性/刺激性 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。皮膚刺激。

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9770 - Pharma Internal Standard 1

改訂日 26-10-2023

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	成分に対して利用可能なデータに基づく分類。強い眼刺激。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	分類できない。
生殖細胞変異原性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。
発がん性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。
生殖毒性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。
標的臓器影響	呼吸器。眼。皮膚。歯。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	国又は地域で採用され、SDSが準拠している世界調和システム(GHS)の分類基準に基づき、この製品は急性のばく露に起因して全身標的臓器毒性を引き起こすと判定されている。(STOT SE)。臓器の障害のおそれ。
以下の臓器の障害のおそれ：	呼吸器。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	長年にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。
長年にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ：	呼吸器、歯。
誤えん有害性	利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。区分に該当しない。

12. 環境影響情報

生態毒性

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

化学品の名称	藻類／水生植物	魚類	甲殻類
hydrofluoric acid	-	-	EC50: =270mg/L (48h, Daphnia species)

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9770 - Pharma Internal Standard 1

改訂日 26-10-2023

残留性・分解性 情報なし。

生体蓄積性 この製品のデータはない。

成分情報

化学品の名称	分配係数
Nitric Acid 7697-37-2	-2.3
hydrofluoric acid 7664-39-3	-1.4

他の有害影響 情報なし。

この製品は、既知の内分泌かく乱物質又は内分泌かく乱が疑われる物質を一切含有していない。

化学品の名称	EU-REACH(1907/2006)-第59条(1)-高懸念物質の認可対象候補物質リスト	EU-REACH(1907/2006)-内分泌かく乱作用評価対象物質リスト	内分泌かく乱の可能性
Nitric Acid	-	-	-
hydrofluoric acid	-	-	-

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG

国連番号又はID番号	UN3264
品名(国連輸送名)	Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid, hydrofluoric acid)
説明	UN3264, Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid, hydrofluoric acid), 8, III
国連分類(輸送における危険有害性クラス)	8
容器等級	III
海洋汚染物質	NP
EmS-No.	F-A, S-B
特別条項	223, 274

ADR

国連番号又はID番号	UN3264
品名(国連輸送名)	Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid, hydrofluoric acid)
説明	UN3264, Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid, hydrofluoric acid), 8, III, (E)

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9770 - Pharma Internal Standard 1

改訂日 26-10-2023

国連分類(輸送における危険有害性 8
クラス)
容器等級 III
ERGコード 8L
特別条項 274

IATA

国連番号又はID番号 UN3264
品名(国連輸送名) Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid, hydrofluoric acid)
説明 UN3264, Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid, hydrofluoric acid), 8, III
国連分類(輸送における危険有害性 8
クラス)
容器等級 III
特別条項 A3, A803
ERGコード 8L

日本

国連番号又はID番号 UN3264
品名(国連輸送名) Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid, hydrofluoric acid)
説明 UN3264, Corrosive liquid, acidic, inorganic, n.o.s. (Nitric Acid, hydrofluoric acid), 8, III
国連分類(輸送における危険有害性 8
クラス)
容器等級 III

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当しない

労働安全衛生法

通知対象物質

該当しない

労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度

作業環境測定を行うべき作業場(労働安全衛生法施行令第21条及び作業環境評価基準 - 実行上の管理レベル)。詳細な仕様については、SDSの項目8を参照。

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

該当しない

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

該当しない

船舶安全法

詳細については項目14を参照

航空法

詳細については項目14を参照

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9770 - Pharma Internal Standard 1

改訂日 26-10-2023

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

港則法

詳細については項目14を参照

労働基準法

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び化学物質の成分及び化合物と労働者の健康障害を指定する通告別表第1の2、項目4の1

水質汚濁防止法

水質汚濁防止法第2条及び水質汚濁防止法施行令第2条で定める有害物質

下水道法

下水道法第12条の2及び下水道法施行令第9条の4

水道法

水道法第4条、法定水質基準

水道法 - 要検討項目

大気汚染防止法

大気汚染防止法第3条に排出基準が規定されている大気汚染物質

大気汚染防止法第17条、第1項及び大気汚染防止法施行令第10条で定める事故時の措置の対象となる特定物質

大気汚染防止法第2条、第1項、第3号及び大気汚染防止法施行令第1条で定める有害物質(HAP)

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

国際インベントリー

TSCA

適合する。

DSL/NDSL

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

EINECS/ELINCS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

化審法インベントリ

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

IECSC

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

KECL

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

PICCS

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

AIC

インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

凡例:

TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー

DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト / 非国内物質リスト

EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー / 欧州新規届出商業用化学物質リスト

ENCS - 化審法既存物質

IECSC - 中国現有化学物質名録

KECL - 韓国既存化学物質目録

PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー

AICS - オーストラリア化学物質インベントリー

16. その他の情報

安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している：
JIS Z 7253:2019, 日本

5190-9770 - Pharma Internal Standard 1

改訂日 26-10-2023

改訂日 26-10-2023
改訂記録 SDSの余白にある記号(*)は、その行が改訂されたことを示す。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 8: ばく露防止及び保護措置

TWA	TWA(時間加重平均)	天井値	最大限界値
*	皮膚兆候	+	感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)
米国環境保護庁ChemViewデータベース
欧州化学品局
欧州食品安全機関(EFSA)
EPA(環境保護庁)
急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法
米国環境保護庁高生産量化学物質
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)
危険有害性物質データベース
国際統一化学情報データベース(IUCLID)
日本政府によるGHS分類
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)
NIOSH(米国労働安全衛生研究所)
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)
米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)
米国国家毒性プログラム(NTP)
ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット
世界保健機構

免責事項

このデータシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。。

安全データシートのおわり